科目名	保育内容指導法（言葉）	開講キャンパス	神園
担当者	金久慎一		

開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択

授業の概要及びねらい	人間としてたくましい精神力と連帯意識の必要性が叫ばれている。そのためには幼児期から思考力・判断力・自己表現力を身につけさせることが重要である。本授業では幼児の「音声」「語」「文字」「書き言葉」等、成長に応じて発達していく過程とそれに応じる保育者の役割を学ばせる。また、絵本教育の大切さについて考えさせたり、幼児向けの創作話を作らせたりする。
授業の到達目標	1）調査研究を通して領域「言葉」と他の領域との関わりを理解し、レポートにまとめることができる。 2）調査研究を通して言語の機能と幼児の言語獲得過程が理解でき、レポートにまとめることができる。 3）調査研究を通して幼児の話し言葉・書き言葉の発達過程が理解でき、レポートにまとめることができる。 4）小学校学習指導要領、幼稚園教育要領の分析を行うとともに、段階的・発達的指導内容を系統的にまとめることができる。 5）保育者として話し言葉や書き言葉の援助のあり方を理解でき、レポートにまとめることができる。 6）絵本の特徴や読み聞かせのポイントについて考えるとともに、発達段階に応じた読み聞かせができる。 7）幼児の言葉の発達過程をふまえたオリジナル話を創作し、読み聞かせができる。
学習方法	講義　演習
テキスト及び参考書等	テキスト：新保育シリーズ「保育内容　言葉」　小田豊・神長美津子監修　秋田喜代美・野口隆子　編著（光生館）

評価基準・方法	到達目標				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%
定期試験	◎	◎			60
小テスト等					
宿題・授業外レポート		○	○		20
授業態度			○		10
受講者の発表					
授業への参加度			○		10
その他					
合計					100

（表中の記号　○評価する観点　◎評価の際に重視する観点）

授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）

第1週	オリエンテーション（幼児の言語と後期授業の見通し）
第2週	よりよい幼児の育ちと保育者の役割について考え合い、調査研究グループ構成を行う。
第3週	調査研究発表をもとに、幼児にとって言葉を獲得することの意義についてまとめる。
第4週	調査研究発表をもとに、幼児の音声や文字の習得方法やその影響について話し合う。
第5週	調査研究発表をもとに、幼稚園教育要領や小学校学習指導要領との比較を行い、その違いを話し合う。
第6週	幼稚園や保育園での文字、書き言葉や人の話を聞くなどの指導法について調べ、話し合う。
第7週	幼児の言葉遊びの意義とその遊び方法をさぐり、それぞれの価値について話し合う。
第8週	幼児に絵本の読み聞かせをする価値について考え合い、グループごとに読み聞かせ練習をする。
第9週	グループを変えたり、絵本を変えたりしながら読み聞かせ練習を行い、相互評価を行う。
第10週	全体で絵本の読み聞かせ発表会を行い、読み聞かせのポイントをまとめる。
第11週	幼児への読み聞かせを視野に入れながら、「伝えたいこと」を明確にした創作話の構想を練る。
第12週	構想表にもとづき、幼児に［伝えたいこと」が明確な創作話を書く。
第13週	創作話発表会を行い、読み聞かせ方法のあり方や創作する上での大切なことをまとめる。
第14週	学習内容をふり返り、新しく発見したことや今後の課題などを「はがき新聞」にまとめる。
第15週	まとめ（レポートテストを含む）
第16週	
備考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。